



平成27年度 顕彰式典

平成27年11月3日（火）

午前10時～午前11時

学術情報総合センター10階大会議室

式次第

開 式

学修奨励賞授与 (学部2年次生 36名)

女性研究者奨励賞授与 [岡村賞] (大学院生1名、博士研究員1名)

女性研究者特別賞授与 [岡村賞] (教員 1名)

学長のことば

優秀教育賞授与 (教員 2名)

優秀テキスト賞授与 (5件)

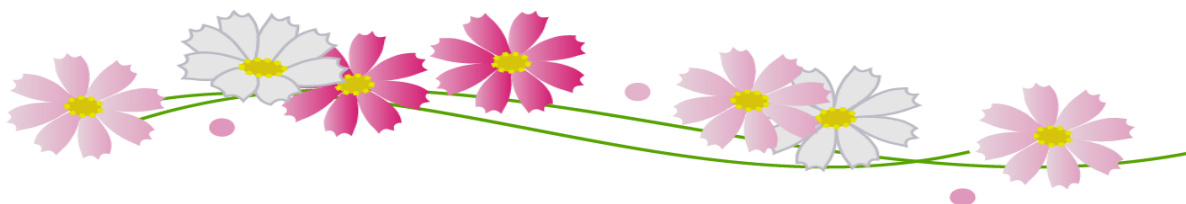
教育後援会顕彰委員長 あいさつ

閉 式

記念撮影

1. 学修奨励賞受賞者・学長・役員・学部長等
2. 女性研究者奨励賞、特別賞受賞者・学長・役員・学部長等
3. 優秀教育賞・優秀テキスト賞受賞者・学長・役員・学部長等

散 会



平成27年度大阪市立大学学修奨励賞受賞者一覧

| 座席番号 | 学生所属学部・学科 | 氏名 |
|------|-----------|--------|
| 1 | 商学部商学科 | 石川 理絵 |
| 2 | 商学部商学科 | 遠藤 悠斗 |
| 3 | 商学部商学科 | 奥村 雄介 |
| 4 | 商学部商学科 | 鮫島 涼子 |
| 5 | 商学部商学科 | 橋本 怜美 |
| 6 | 商学部商学科 | 吉田 均 |
| 7 | 経済学部経済学科 | 岩崎 翠 |
| 8 | 経済学部経済学科 | 坂口 美稀 |
| 9 | 経済学部経済学科 | 堤 渚彩 |
| 10 | 経済学部経済学科 | 計倉 志帆 |
| 11 | 経済学部経済学科 | 前原 佳苗 |
| 12 | 経済学部経済学科 | 吉永 茜 |
| 13 | 法学部法学科 | 青山 大亮 |
| 14 | 法学部法学科 | 井上 翔太 |
| 15 | 法学部法学科 | 西川 敦子 |
| 16 | 法学部法学科 | 本田 理佳 |
| 17 | 文学部哲学歴史学科 | 西田 侑紗 |
| 18 | 文学部人間行動学科 | 古本 瑠璃子 |
| 19 | 文学部言語文化学科 | 齊藤 佑太 |

| 座席番号 | 学生所属学部・学科 | 氏名 |
|------|--------------|--------|
| 20 | 理学部数学科 | 甲斐 涼哉 |
| 21 | 理学部物理学科 | 橋本 将史 |
| 22 | 理学部化学科 | 久保田 駿一 |
| 23 | 理学部生物学科 | 高橋 大地 |
| 24 | 理学部地球学科 | 大城 遥一 |
| 25 | 工学部機械工学科 | 徳山 大輝 |
| 26 | 工学部電子・物理工学科 | 青石 宗一郎 |
| 27 | 工学部電気情報工学科 | 北田 友哉 |
| 28 | 工学部化学バイオ工学科 | 吉岡 こころ |
| 29 | 工学部建築学科 | 小林 祐未子 |
| 30 | 工学部都市学科 | 中屋 克幸 |
| 31 | 医学部医学科 | 加藤 きみ佳 |
| 32 | 医学部医学科 | 松本 大介 |
| 33 | 医学部看護学科 | 立花 更 |
| 34 | 生活科学部食品栄養科学科 | 萩原 禎美 |
| 35 | 生活科学部居住環境学科 | 湯口 大樹 |
| 36 | 生活科学部人間福祉学科 | 木下 佳子 |

平成 27 年度 大阪市立大学 女性研究者奨励賞・特別賞〔岡村賞〕受賞者一覧

| | |
|------------------------------------|---|
| <p>大学院生奨励賞 〔岡村賞〕 (1名)</p> | <p>澤田 彩 SAWADA, Aya 経営学研究科 グローバルビジネス専攻 後期博士課程 3年</p> <p>本学商学部を経て、大学院経営学研究科に進学し、前期博士課程では、環境と経済をテーマに据え、太陽光発電システム産業の産業構造分析を行い、その実態の大枠を明らかにした。現在、後期博士課程 3年に在籍し、太陽光発電システム産業の研究をさらに掘り下げながら、育児との両立を実践している。また、本学における女性研究者研究活動支援事業に学生スタッフとして携わり、自らの経験を生かしてライフイベントを抱える研究者の支援、ワーク・ライフ・バランスをテーマとしたワークショップの企画設計などに従事していることから、男女共同参画推進の観点で高く評価される。</p> |
| <p>博士研究員奨励賞 〔岡村賞〕 (1名)</p> | <p>前田友梨 MAEDA, Yuri 理学研究科 物質分子系専攻 日本学術振興会 特別研究員</p> <p>本学理学部卒業後、大学院理学研究科へ優秀な成績で入学し、後期博士課程へ進学した。研究課題は「多電子電解還元触媒能を有するN-ヘテロ環カルベン (NHC) 錯体ユニットをもつ三重架橋硫黄配位子含有多核錯体の創成」である。研究成果と研究立案能力が評価され、平成26年度から、日本学術振興会の特別研究員に採用された。これまでに国内学会でポスター発表4件、口頭発表4件、国際学会でのポスター発表6件に加え、国際学会での招待講演1件を行い、国際会議においてポスター賞を受賞した。継続的な研究活動により、将来的に有望な研究者としての活躍が期待できる。</p> |
| <p>特別賞〔岡村賞〕 (1名)</p> | <p>要田洋江 YODA, Hiroe 生活科学研究科 総合福祉・心理臨床科学講座 教授</p> <p>社会学(家族社会学、福祉社会学)の研究領域において、先駆的にジェンダー視点を踏まえた障害者問題研究の領域を確立した。差別問題、ジェンダー問題に造詣が深く先見性に富んだ研究者であり、国内外において障害者差別問題それ自体の考察、さらには社会福祉、社会問題の現状と日本の特質のルーツを精力的に研究している。また、現・人権問題委員会の基礎となる、本学における「婦人問題委員会(のち女性問題委員会)」発足においての直接の発案者であり、全学的な組織運営を継続してきた。研究業績および学内運営における活躍が、今日に至るまでの本学における女子学生、女性研究者の地位向上に大いなる貢献をもたらしたことは高く評価される。</p> |

平成27年度教育後援会顕彰(秋季)受賞者一覧

| | | |
|---------|---|---|
| 優秀教育賞 | 1 | <p>原田 正史(はらだ まさし) 医学研究科・准教授</p> <p>原田正史氏は基礎医科学専攻分子生態医学講座実験動物学研究室の准教授として、医学部1回生の「生物学A」および「生物学実験M」の講義と実習を担当している。「生物学A」ではスライドやプリントを交えて細胞学の新・旧の情報についてわかりやすく説明し、また講義時間の終わりに正解を求めない小テストを実施し、受験で固定化された記憶重視の考え方をほぐす工夫をしている。また、「生物学M」ではサメ、ウシガエル、ラットを用い、消化器系、循環器系、泌尿器系および脳の比較解剖を行なっている。この実習は大学受験までの知識偏重の授業を長く受けてきた学生にとって、医学教育の第一歩として大きな刺激となっている。このような授業および実習における工夫および丁寧かつ熱心な指導に対し、医学部学生の推薦投票で決まる『Teacher of The Year』賞を受賞しているなど高い評価を受けている。</p> |
| | 2 | <p>西垣 順子(にしがき じゅんこ) 大学教育研究センター・准教授</p> <p>西垣順子氏は大学教育研究センター専任研究員として、大学生の発達に関する研究、初年次教育、学士課程教育のあり方に関する研究、成績評価と単位制度のあり方についての研究を進めてきた。また、教育面では全学共通教育において、「教育と発達の心理学」、「リテラシー教育の思想と方法」、「教育と発達の心理学(演習)」および「初年次セミナー」を担当し、それらの教育実践において、大人数のクラスでも学生が能動的に参加できるような以下の工夫を行なっている。(1) 本学で最初にクリッカー(応答用リモコン)を授業に導入した。これにより他の学生の回答傾向を知ることができ、学生たちに刺激を与え授業への参加意欲を喚起した。(2) 「ミニペーパー」を用いて学生とのコミュニケーションを促進した。ここでは毎授業終了時に提出される「ミニペーパー」に書かれた疑問や見解、あるいは宿題である読書感想文等に対するコメントを翌週に返すことにより学生の学習活動の向上に高い効果を生んでいる。また(3) レポートの書き方の教授法に独自の工夫を凝らし、教育実践を通して新たな方法論を提案した。以上のアプローチは日本の大学教育では極めて先駆的であり高い評価を受けている。</p> |
| 優秀テキスト賞 | 1 | <p>高橋 信弘(たかはし のぶひろ) 経営学研究科・教授</p> <p>テキスト題目 国際経済学入門ーグローバル化と日本経済ー改定第2版</p> <p>著者名(または共著者名) 高橋 信弘</p> <p>発行年月日 2015(平成27)年2月23日、ナカニシヤ出版</p> <p>授業科目名 日本の企業(全学教育科目)</p> |
| | | <p>稗田 健志(ひえだ たけし) 法学研究科・准教授</p> <p>テキスト題目 政治学の第一歩</p> <p>著者名(または共著者名) 砂原 庸介(阪大・准教授)、稗田 健志、多胡 淳(神大・教授)</p> <p>発行年月日 2015(平成27)年10月15日</p> <p>授業科目名 政治学概論</p> |
| | | <p>大阪市立大学理学部物理学実験教育ワーキング・グループ</p> <p>テキスト題目 物理学実験 第4版</p> <p>著者名(または共著者名) 小原 顕 講師他27名</p> <p>発行年月日 2015(平成27)年4月1日、東京教学社</p> <p>授業科目名 基礎物理学実験I、基礎物理学実験II、入門物理学実験</p> |
| | | <p>金子 幸弘(かねこ ゆきひろ) 医学研究科・教授</p> <p>テキスト題目 オンライン細菌学講座 細菌学講義eText</p> <p>著者名(または共著者名) 金子 幸弘</p> <p>発行年月日 2015(平成27)年8月27日</p> <p>授業科目名 細菌・真菌感染症」コース</p> |
| | | <p>全 泓奎(じょん ほんぎゅ) 創造都市研究科・教授</p> <p>テキスト題目 包摂型社会：社会的排除アプローチとその実践</p> <p>著者名(または共著者名) 全 泓奎</p> <p>発行年月日 2015(平成27)年4月1日、法律文化社</p> <p>授業科目名 社会的包摂論</p> |